

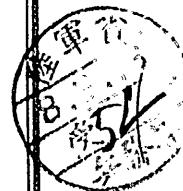
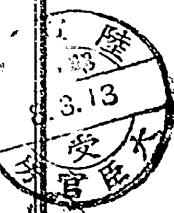
問

1755

八

二五七

航秘第 一〇號



昭和七年度陸軍航空統計件報告

昭和八年三月廿一日 陸軍航空本部長 渡邊錠太郎

陸軍大臣 荒木貞夫 殿

昭和七年度陸軍航空統計表別冊一通リ報告ス
別冊二部

陸

軍

1756

昭和七年度自六年六月一日至七年十一月陸軍航空統計表

昭和七年二月
陸軍航空本部



観察要集（前年度と比較）

- 一、飛行回数、飛行時間、搭乗人員、飛行距離等
内地部隊ノミス以テ計算等ニテハ減少シ在満部隊ヲカ算スルハ
増加シアリ
- 二、操縦者一人、平均飛行時間一四六時間余ニシテ十六時間、増加
殉職者激増（内地部隊十七名、在満（上海）部隊十五名）
蘇中空中戦斗、航法中空中衝突ニヨン死傷多シ
甲式戦斗機、事故ニヨリモ多シ（從來、統計ト及野）
内地部隊発動機、大破及八八式偵察機、破損率ハ大ハ奇
現象
- 三、内地部隊、バングーン消費量八八式、飛行時間増大、併ヒ激増ス
内地部隊飛行日數平均二百六十三日ニシテ増加ス

昭和七年度陸軍航空統計=對スル觀察

一、本年度ノ特徴

昭和七年二月上海事變勃發ニ伴フ飛行隊ノ出動續イテ夏以来立満部隊ノ兵力ヲ充實セル結果内地諸隊ノ教育訓練ニ相當ノ影響有ラ及シタルコト新制式機ノ支給ニ方リ之カ傳習教育又消費油量等ニ例年異ル統計ヲ現出シタルコト是レナリ

二、

飛行回数

統計表第五ニ示ス如ク昭和七年度ニ於ケル飛行回数ハ

	昭和七年度	昭和六年度
内地部隊	一六五、三三九	一八一、五〇八
在滿部隊	二三〇四八	(六年度統計作製迄 ニ未提出シ即六度數入)一〇七
計	一八八、三八七	一八二、三一五

ニシテ之ヲ昭和六年度ニ比較スレハ内地部隊ソミニ以テ

觀ハ一万余百六十九回、減少シテ一見不振、現象、如クナレトエ立満部隊ミテ算入スレハ六千七十二回、増加トナリ、其増加率ハ例年一万數千回、比シ約二分之一、割合ナリ、其原因ニ就テハ前項ニ述ベシトヲニ帰因スト雖、一方八八式偵察機ノ如ク航續時間、增大ニ伴ヒ、航法、寫真撮影教育又ハ満洲等於ケル偵察ノ一服務時間延長シ從テ飛行回數、従減ラキシタルモノトエ考察セラルヘシ、甲式四型比シ九一式若クハ九ニ式戰斗機、立空活動時間ノ増如亦然リ、故ニ單ニ飛行回數ノミ、增減率ヲ以テ飛行隊、運否ノ論スルハ誤ナリ

又内地各隊飛行回數一六五、三三九、對シ各部隊（聯隊、學校）ヲ通スル平均飛行日數ハ二百六十三日ナルカ故ニ、全陸軍航空ニ於テハ一日平均六百三十回弱、飛行ヲ實施シタルコト、ナリ、聯隊（學校）一日平均五十九回弱（學校、聯隊、飛行總回數）、一五七、一一七、（飛行日數）、二六五日、飛行ヲナス道理ナリ

而シテ一日ノ實働時間ヲ仮リ、四時間トスレハ内地全
陸軍毎時約一五七回ノ飛行換言スレハ每分ニ六機
即ニ機以上ノ飛行機カ内地飛行部隊、何レカノ飛行
行場ヨリ离陸スル許算トナリ例年比シ敢テ遙
色ナシ

三、飛行時間ト搭乗人員

飛行時間及搭乗人員共ニ前項飛行回數ト同様ノ景
況ナリ即内地部隊ノミヲ以テ検討スレハ減少シアレトエ
立満部隊ヲ也算入セル陸軍航空金般ヨリ観察ス
レハ増加ナリ

而シテ増加ノ比率ヲ既往數年間ノ統計ヲトレハ左
如シ

内 七年 度	昭 和 四 年 度	飛 行 時 間		搭 乗 人 員
		内 六 年 度	内 七 年 度	
八、一 九、一 三 七	九、三 六 三 三 五	五、〇 六 八 一 五	七、二 一 五 四 二 分	一、七、六 四 三 人
			一、四、二 〇 〇	一、六、七 九 三

右、如ク兩者共ニ增加率ハ稍弱足ミ又感アレトニ仔細ニ研究スレハ搭乗人員、增加率ヨリモ飛行時間、増大ハ是レ取りニ直サス各人、飛行時間、延長ラ意味スルヲ以テ慢然タル任務ナキ搭乗者、減少ラ證明スルモノト云ヒ得ヘク又一面器材整備、良好ラ表徵明シ空中勤務者、充實ト相調和シ来レル甚タ喜スヘキ現象トニ稱スヘシ

又操縦者一人、最近數年間、於ケル飛行時間左、如シ
 昭和三年度 一二二二時一三分
 四年度 一二五三八
 五年度 一二四五六
 六年度 一二四五三
 七年度 一四六一九

即昭和七年度、過去數年間ニ比シ其增加率顯著ニシテ、國軍ノ爲最も能枝トスルトヨナリ、然レトニ之ヲ米國陸軍航空隊操縦者一年間平均飛行時間三〇〇時間ニ比スレハ尚大ナル運庭アリテ國軍將來ノ訓練上及器材

總對蘇聯上考慮とサルヘカラサルトコロタリ
但シ米國ニ於テハ最近經濟上ノ見地ヨリ一ヶ月ノ飛行時
間ヲ一時間ニ減少スル議案提出セラレタルト之ニ對スル
一般飛行將校ノ意見ハ次ノ如シ

(1) 駆逐機又ハ地上攻擊機、操縦者ヲ完全、養成センニ
ハ最少限一五一二〇時間ヲ要スヘク又其技能維持ノ
爲ニハ二五二三〇時間ヲ要シ

(2) 爆擊機又ハ偵察機ノ操縦者、爲ニハ一五時間ヲ必
要トス
以テ他山、石トスルニ足ル

四

飛行巨離

内地部隊及在滿部隊ノ關係ハ前各項ト同様、底態
ナリ即内地ニ於テハ飛行巨離減少シ在滿部隊ヲ含ム
全般トシテハ増加シアリ而シテ増加ノ割合ハ百八十六万
百二十九料ニシテ六年度ト略同等ニシテ五年度、約八十
料ニ比シ二倍ナリ。

之カ原因、一ハ新飛行機、支給整備數ノ增加ニ伴ヒ

満洲、空中輸送及在滿部隊の作戦、必要ニ基ヲ偵察連絡、爆撃等ノ任務、撤スル時間、延長リ結果、在満部隊ヲ含ム總軍萬ハ數倍セ心ニ及シ、他市内地部隊中人員器材、抽出セラレタ、殘留部隊的下ナリタル、隊多キト最寄師團ノ出動ト一伴フ、特制機、連合諸演習等、計画ノ中止若クハ企画ノ案出セラレサレニ依リ、器材、進歩、航法教育、普及盛ニ拘ラス其巨萬低下セモノト判斷シ得ヘシ

五、事故（第一表、第十一）

不死傷者数

本年度事故中内地部隊、死者十七名、昨六年度、十三名又最近數年間、統計ニ示ス一年十名内外、

犠牲者ニ比較シ、美濃數倍増也

又満洲及上海事變、島空中勤務者、戰死者（行錄）
至六年三月十五名、アリ、シテ空中戰フ交ハサル今次、如キ
特種、作戰ニ於ケル犠牲率トミテ、他日、参考資料
タメハシ

負傷者ハ本年度内地部隊ノ十八名ハ例年ノ二十數名ニ比シ減少シアレトモ多數公勳中ニシテ内地ノ搭乗人員低減シアルニ鑑ミル時ハ當然ノ現象ト思考セラル

但シ死者及傷者ヲ合算スル時ハ其數例年ト大同小異ナリ

我陸軍航空人命ノ損失ハ飛行巨萬六〇六、二一一幹三對シ一參割合ナルニ米陸軍ハ二、七二、四〇〇漸ニ一名割合即本邦ハ米國ノ約四倍ノ比率ナリ

口 飛行課目ト事故

内地部隊殉職者中本年度特異ノ現象ハ空中戦斗及航法ニ依ル空中衝突ナリ即空中戦斗四名中ノ三名及航法四名中ノ二名別ニ空中射擊一名計六名ハ何レ空中小衝突ニ依ル殉職者ナルハ其原因尚研究ヲ要スベキモノアリト雖ニ之カ力指導ニ任スルエキ注意ト研究ヲ必要トスル所ニシテ將來事故防止ニ努力ト共ニ一方之カ爲訓練ヲ消極的ナラシメ

サルノ着意肝要ナリ

次ニ航法ニ於テ死者四名負傷者五名ヲ發生シ
ハ過去二年間ニ於ケル減少、狀況ニ比シ却テ逆轉ノ
現象ナルヘ注意ヲ要スルニ一面飛行性能ノ増加ニ伴
ヒ航法教育ニ對スル要求ノ增加ヲ之顧慮スルヲ要ス
本年度ニ於テ搜索ニ於テ事故ノ絶無ナリシハ喜フヘキ

現象トス

其他ノ事故ニ殆ド軍事訓練中ニ發生シタルコトニシテ
單ニ一般飛行中ノ事故ト認ムハキハ飛行場制限地着
陸演習中ノ墜落ト高度時間飛行中ノ墜落、二名
ニ過キヌシテ所謂一般飛行ハ危險ナラスシテ軍事訓
練ノミカ危險ナリトノ原則ニ一致シアルコトヲ證ス
滿洲上海事變ニ於ケル事故ノ詳細ニ就テハ茲省
略ス

八 機種ト事故ト、關係

甲式四型ト乙式トノ人命ニ對スル危険率ニ於テ過
去ノ統計ニ於テ乙式一方危険大ナリトノ結果ヲ示

セルニ均ラス、本年度ハ之ヲ裏切リタリ。
即左、如シ

死者

傷者

甲式四型 九

五

飛行回数
飛行時間
飛行艇人員
關係八例年

乙式一型 四

六

同様、條件ナリ

尚九一式戰斗機、死者一名、傷者一名ヲ甲式ニ
又八八式一型偵察機、死者二名、傷者五名ヲ乙
式ノ方ニ加算スルハ前者ノ死者十名傷者六名計
十六名ニ對シ後者ハ死者六名傷者十一名計十七
名ニシテ相伯仲ス

其原因ハ前項「謀目ト事故」述ヘタル如ク空中
戰斗就中空中衝突、及生カ戰斗機ニ特・多カ
リシ結果ニ因ルヘシ

米軍ノ統計ニ依レハ驅逐、偵察及地上攻擊機
事故ハ略同等ニシテ爆擊機、輸送機、事故ニ比シ六
八倍ナリ参考迄紹介ス
六、器材破損ノ状況(第二表)

器材破損状況(内地部隊)中飛行機、全部及発動機ノ中破小破於テハ飛行各統計ノ減少ニ伴ヒ低減セルハ自然ノ成行ナレト茲ニ注目ニ價スルモノハ発動機ノ大破四一件ニシテ六年度ニ比シ七台ノ増加ヲ見タルハ憂慮スヘキ点ナリトス、

而シテ其破損状況ヲ機種別ニ検討スレハ破損ノ最甚シキハ依然甲式四型ニシテ是レ訓練ノ性質上已ムラ得ナルモノト認メサルヲ得ス

唯茲ニ看過スルコトノ出來サル件ハ乙式ト八八式偵察機ニ於テ兩者ノ飛行時間後者ノ稍來(=千時間)件ニ過ギサンニ拘ニス器材破損率却テ八八式一方不良ニシテ飛行機ノ大破(乙式一二台)、発動機ノ大破(八八式二二台)、小破(乙式二二台)、(八八式二二台)

ナリ
即玉及六年度共ニ八八式ノ相當時間飛行シテモ其破損件數殊々飛動機、極ノラ少キ(大破乙式二二台)ハベエハ、ハ発動機、信頼性ニ富ムト能打チタルニ及シ本年度十二台ノ大破三六台、小破ヲ發生セルハ其素因耶迄ニ存スルヤ研究、必要ナルモノト認ム

七、消費油量(第四表)

消費油量（内地部隊）ハ飛行時間比例シ増減スルヲ自然ノ現象
トスヘキラナル。特ニベシノ一例、飛行時間、此三者ニ消費量、激増
シアルハ一見奇異之感アリ。其原因ハ、ニムニ、四年、馬力發動機付入
式一型及二型機、飛行時間、增加、伴ノ結果、ランド確定セル。即第4裁
示々如ノ黒式、或入式、一型ノ飛行時間ハ、益々キニ拘ニシテ、ノル
ゴル、消費量、開シテ、過半、二者、皆無若ク、極少量ナシニ入式、全
機總消費量、過半、也メアリ故ニ將來ヘ飛行動機、使用增加、從ヒ益
此關係、續著、又ランコトヲ、予期セサルヘカラス。

八、飛行日數

飛行全部隊、本年度、平均飛行日數、既述、如、二百六十二日ニシテ例年
、二百五十日、内外、比シ増加セルハ國軍進歩、實證メリ、是レ天候氣象、
統計ナキラ以テ、其天候、恵マシタルニアラズヤト疑ナキニシモアラサルカ、航法教
育、結果、雲霧中飛行訓練等、為、荒天惡氣流、於テモ飛行シ得ル
自信力、漸増シタルコト、七年度、大坂、津野、於テ、特別大演習、事實、機
スルを明ナリ。

而シテ各部隊及學校、操練、觀察等ニ三學校共ニ五六年度、比シ、増加シ
アリ、各縣隊ハ多少ノ差アリテ、最少三百三十日、最大三百六十日、即三四日ノ差アリ
其差（開キ）ハ六年度、十六日、五年度、十四日ニ比シ大ナリ、其由ツテ來ルトコロハ各

地、天候、各部隊、行事等各種、狀況ニ依ルコト勿論ナドト本年度ハ滿洲、上海等、事變、為行事ノ變更ヲ、餘儀ナタセラレ、各部隊ノ訓練活動ニ支障ヲ生シ影響セシミト少カラサルヘシ。

例ハ六年度各駿隊、飛行日數ハ五年度ニ比シ殆増加（一日或少セシトヨロ）ゼンニ及シ本年度ハ六年度ニ比シニニ除々大部、驛隊ハ減少ノ況況ナリ。

九、

結論

本年度、統計、滿洲上海事變等ノ為人員、異動頻繁、部隊、飛行機、出勤、輸送等交錯シアリテ統計、作爲上甚々困難ヲ生起シ、又シコト想像ニ難カラス、從テ調査ノ正確ハ平時、如ク期ニ得ラレス、又如ク、觀察モ正鵠ラズク良タゞアルヘキヲ予期スレト本統計表、有効ニ活用セラレントラ希望スル、カナルト四口アリ敢ラ茲観察ノ數例ヲ試ミタリ。

因、統計表ノ利用並調製提出者、便否等ヲ顧慮シ統計表、調製法、就テハ各部ト連絡、上近ク研究一案ホラ示サントス

第一表

昭和七年度陸軍航空統計表

其一
(郭隊別)

備考

三、本表ハ在滿部隊ヲ除ク（以下同シ省略但附記スルモノアリ）操縱者一人平均飛行時間ハ満洲事変後等ニテ人員、興動甚シノ正確ナル在隊人員ノ調査困難ニシテ從テ其數字モ罩ニ概数ヲ知ルニ過キサルモノトス。

第二表

昭和七年度陸軍航空統計表 其二 (機種別)

第三表

昭和七年度消費油量表

(其一)(部隊別)

		部隊		燃料		滑油	
		分隊	班	揮発油	benzine	カストル	フルゴール
所	下校	五十九	八	一九二三	三、四六五	九一九	九一九
所	下校	三四三	四六	—	三、四六五	九一九	九一九
明	校	三〇五五五八	七四一六	一〇八八八五	一〇八八八五	田七八、六	田七八、六
明	校	三、四六四	六	七一三五四	七一三五四	一三八九、六	一三八九、六
計	一	一六八二九八	一六六四二六	一六六四二六	一六六四二六	一六六四二六	一六六四二六
飛	一	一七七三四	一五六	一六七一〇	一六七一〇	一	一
飛	二	一三三四六	—	一九〇三八	一九〇三八	—	—
飛	三	一六八六五	一四六	一六三六	一六三六	—	—
飛	四	一七八三三〇	三八八六	八〇八〇	八〇八〇	二四六	二四六
飛	五	一一二二二〇	一四一三五	一一六三〇	一一六三〇	一八三二	一八三二
飛	六	五五一	一四一六	三一八	三一八	—	—
飛	七	一六八二六	六八八一	—	—	八〇八〇	八〇八〇
飛	八	一三八二二	二八四六	八六四	八六四	—	—
飛	九	一三一四二	一六四五	八三五三五	八三五三五	—	—
各	班	二六〇六	八八六	一九一〇	一九一〇	四〇	四〇
各	班	一七八四	八八八〇	一六六三	一六六三	九一五	九一五
計	一	一〇一三	—	五〇八八	—	—	—
技術部	一	一〇一三	—	四一五	—	—	—
所支部	大四三	—	—	三九六	三九六	—	—
各支部	八八四	一九九一	—	二八六	二八六	—	—
累計	二五八二八九三	三五〇六六二	一六四一五五	二七五〇六	二七五〇六	—	—

第四表

昭和七年度消費油量表 其二（機種別）

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" style="width: 100px; height: 50px; vertical-align: middle; text-align: center;"><tr><td>1</td><td>2</td></tr></table>	1	2
1	2		
分割撮影した理由	A3判以上の大物		
上記のとおり分割撮影したことを証明する			
5年 8月 9日			
主務者又は			
撮影立会者 加部東 保夫 			

第五表

昭和七年度陸軍航空統計比較表

944

昭和七年度各部隊機種別航空統計表：其一（飛行回数）

	所轄	下校	明校	飛一	飛二	飛三	飛四	飛五	飛六	飛七	飛八	所檢	各檢	技部	所轄部	各支部	計
甲式二型 一式 300	14,069	2572	4252	9191		7,216	14485		573		11,200	173	117	157	126	161	43,362
九一式 ジニス 420	1,254	194	2,442	1,957		275						501		658	8	5	7,391
九二式重 ペキ 450			272									2	321	297	3	854	
乙式二型 セキ 230	3,1327	4533	2687	988	802	884	1,007	5,868	635		817	166	273	342	128	95	43,761
八八型 ペキ 450	1,6122	5,197	7,696				3,749		1,651	1,039	3,303	515	187	1,768	88	39	40,865
八八二型 ペキ 450		372					7,100						198			3,180	
九二式偵 九二式 400	203	208	276		693							1	102	843	12	2,338	
八七式重 ペキ 450									1,252				12	250	3	20	1,637
八七式輕 ペキ 450									3161						9	2,170	
八八式輕 ペキ 450									504				105	57	30	1,147	
乙式一型 ロ式 80	1,355												41	11		13,603	
石川島紡 二式 30		103														142	
特殊機 二式 200																	
試験機 ペキ 450		67															
川崎重 ペキ 450			437							7				2		76	
中島ブルー ジニス 450														217		156	
トライエリート 三式 223				—										6		6	
アラタスカルド 五式 220														17		17	
カナヅチ ペキ 450		195													2	177	
エンカース ジニス 420													16			16	
ドルニエ 140-1 ペキ 150														6		6	
アラタスカルド ペキ 450														10		10	
計	81,697	12,952	18,997	12,136	8,695	8,425	9,341	7,968	2,873	5,823	8,320	1,374	1,355	4,735	394	364	165,335

昭和七年度各部隊機種別航空統計表 其二 (飛行時間)

	所校	下校	明校	飛一	飛二	飛三	飛四	飛五	飛六	飛七	飛八	折換	各換	技部	所部	各支部	計
一式二型 一式 300	2486.14	1284.45	1700.27	3807.17		3261.93	3268.39	1674.1		1564.16	57.27	340.7	122.08	41.30	50.17	16745.11	
九一式 ジニス 420	339.07	50.14	990.31	788.02		106.26				309.54		225.21	7.96	2.26	3734.47		
九二式 ベニ 450			122.50							49	98.23	93.23		146	317.11		
二式一型 セニ 230	1106.130	2217.38	1112.33	477.20	3298.50	435.59	421.30	3185.59	168.48	369.59	26.09	74.58	84.22	27.01	50.10	15043.36	
ハリ一型 ベニ 450	4930.17	3554.32	3393.00			1853.06		864.01	489.38	1597.54	145.10	58.25	483.48	18.57	2439	17413.87	
ハリ二型 ベニ 450			572.07			851.30				68.09					1491.46		
九二式偵 九ニ 400	41.47	96.35	102.54		198.18					130	36.13	291.55		10.02	778.14		
八七式重 ベニ 450								630.06		432	78.13	30	12.23	725.44			
ハビ式爆 ベニ 450								725.49			4.68			729.57			
ハリ式輕 ベニ 450		41						634.44		73.52	23.32		11.22	773.11			
己式一型 ロニ 10	2240.31										10.17	3.00			2253.48		
石川島紡 シニ 80	28.33														28.33		
特殊武闘機 ユニ 500								45.06			38.01				83.07		
新製軽二 ベニ 450	17.08							5.26			2.05				24.39		
川崎軍機 ベニ 450			164.28								89.36				236.04		
中島飛行機 ジニス 450											2.37				2.37		
トヨタエア ラニ 225											4.08				4.08		
フエガムズル ラニ 300	59.21											2.85			59.46		
アオシマ ジニス 450										2.40					2.40		
ニンカース ジニス 420											13.13				13.03		
トヨタエアズ ベニ 450											11.16				11.46		
愛國朝鮮 ベニ 450												32.35			32.35		
合計	142669.7288.13	8179.21	3072.39	3498.08	3903.48	4343.16	3037.29	1263.30	3530.49	3532.09	441.39	448.39	1566.15	135.82	192.05	59497.50	

844T

昭和七年度各部隊機種別航空統計表 其三 (搭乗人員)

	所校	下校	明校	飛一	飛二	飛三	飛四	飛五	飛六	飛七	飛八	所換	各換	校部	前支部	各支部	計
田中四型 ペリ300	10,089	2,572	11,252	9,191		7,222	4,485		573		11,200	173	117	157	126	161	113,362
九一式 三式420	1,254	194	3,140	1,957		275						501		658	8	6	3,794
九二式 一式450			222									2	321	292	2	844	
二式一型 一式230	3,7367	7597	3,133	988	12,667	1,375	1,738	9,516	982		1,430	283	433	519	188	137	76,301
八八型 八式450	22,004	9,209	10,749			6,650		3,059	2,303	5,442	834	322	2,773	132	60	63,537	
八八型 八式450		1546				3,378						315			5,239		
九二式 九式400	263	389	388		888							1	129	1,037	144	3,055	
八七式 八式450								6,482				57	1,347	16	116	8,018	
八六式 八式450								3,692						20		3,712	
八六式 八式450								1,628				214	120	49	7012		
三式一型 ロス20	22,518											55	15			22,638	
石川島保 三式20	187															187	
特殊機 ニキ110								551				551				1,102	
試験機 ペリ450		113							19				2			134	
川崎一型 ペリ450			439									217				656	
中島一型 ジロク450												6				6	
トヨタレット ラス225												19				19	
トヨタレット ラス200		421											7			428	
フオウタ一 ジユキ450												40				40	
コントラース ジユキ420													13			13	
ドクゼー一型 ペリ450												40				40	
愛國海賊 ペリ450													38			38	
計	89,632	20,475	25,170	12,136	13,523	3,916	1,2,873	12,944	2,612	14,675	11,072	1,034	1,948	2811	550	544	233,675

昭和七年度 課目別航空統計表 其一（飛行回数）

	所飛	下校	明校	飛一	飛二	飛三	飛四	飛五	飛六	飛七	飛八	所候	各模	技部	所支部	各支部	計
操縦術	14251	3595		3440	1612	2171	1593	2638	1143	2186	2038	4011					63,121
空戦	50	154	3788	3585	594	2021	1711	288	155	182	1396						14,454
空爆撃	694	286	2891	2035	1152	1166	1260	1018	99	392	1,798						13,547
爆撃		116			52	13	103			986	28						1,301
捜索	815	1899		2	691	10	310	531	113	41	131						4,640
射撃観測		606			27		52	36	28	17	54						800
連絡	1113	537			639	35	250	519	21		156						2,594
航法	1,952	493	11	392	332	388	396	462	717	236	294						5,074
夜間飛行	1768	1474	616	1641	1671	1443	1,935	1,232	690	954	1610	6	67	81			15,432
曳的																	
目標攻撃	90	164	3191	427	69	361	370	69	118	315							5,234
試験飛行	2,399	2003	714	402	768	513	486	397	397	380	184	797	641	4681	358	303	21,673
其他飛行	68	1,025	4,039	445	744	172	207	505	238	351	297	167	447	7	36	61	8,019
計	56,760	12,952	15,347	12,519	2,563	8,425	9,323	7,745	3,061	5,706	3,295	1,374	1,355	4,769	3,94	361	156,752

昭和七年度課目別航空統計表 其二（飛行時間）

	新兵	下校	明校	飛一	飛二	飛三	飛四	飛五	飛六	飛七	飛八	前檢	各檢	枝部	前枝部	各枝部	計
標識飛行	1,341,44	1,203,11		1,304,52	602,36	706,32	631,32	602,45	209,35	621,26	643,19	67,10					15,714,42
空中戦斗	2,846	4,29,24	2,54,38	1,69,10	342,30	1,053,45	753,39	198,44	63,34	9,08	519,21						7,612,30
空中爆撃	1,88,06	169,20	1,09,64	731,32	407,09	477,01	731,48	212,12	324,0	13,127	658,09						4,137,18
爆撃	40,15				21,50	16,54	50,45			718,26	10,13						838,23
搜索	475,18	1,21,32		1,09	494,11	10,59	308,14	424,04	305,24	4,09	117,25						3,358,22
測量観測		461,15			26,53		54,30	19,28	148	8,01	39,47						611,42
連絡	154,06	456,47			290,17	32,42	129,46	200,17	112,0		7045						1,350,00
航法	256,48	682,02	31,31	335,55	458,54	387,10	459,48	587,04	183,29	295,46	353,30						1,327,57
夜間飛行	290,28	442,02	222,20	426,33	213,38	393,51	518,13	202,43	96,16	236,30	257,16	,32	10,18	12,42			3,323,42
曳引飛行	49,41	159,03	3,345,01	267,47	44,59	218,09	251,33	45,38		75,03	203,11						3,680,05
試験飛行	1,503,50	683,39	383,08	149,08	283,37	189,08	152,50	106,44	9756	132,49	68,09	292,06	383,46	1,544,16	88,51	106,32	6,066,29
其他飛行	34,12	847,45	1,568,48	349,49	362,54	213,40	188,14	437,07	115,32	300,27	147,46	81,51	154,35	9,17	4701	88,33	4,844,33
計	142,659	3,288,12	817,920	5,158,06	3453,28	3903,51	4,230,52	3,036,46	1,200,34	2614,12	308,53	44,139	448,39	1,566,15	135,52	192,05	5,906,543

第十一表

課目別事故統計表

		操縦		爆撃		空中戦		操縦術		説明	
		連絡	射撃観測	搜索	機銃	戦斗	射撃	飛行	操縦	區分	
計											
基地飛行	試験飛行	夜間飛行	航法	連絡	射撃観測	搜索	爆撃	空中戦	操縦術	死傷	
一	一	一	四				一	四	五	死	
二	二	二	五				二	一	一	傷	
三	三	一							二	地物上	
四	四	六	一	六	二		一	一	一	大	機
五	五	七	八	四	一	一	一	一	一	中	
六	六	八	九	五	一	一	一	一	一	小	体
七	七	九	十	六	二	一	一	一	一	計	
八	八	一	一	七	一	一	二	五	六	三	
九	九	一	一	八	一	一	五	八	五	八	
十	十	一	一	九	一	一	五	九	八	八	
十一	十一	一	一	十	一	一	五	十	九	九	
十二	十二	一	一	一一	一	一	五	一一	一	一	
十三	十三	一	一	一二	一	一	五	一二	一	一	
十四	十四	一	一	一三	一	一	五	一三	一	一	
十五	十五	一	一	一四	一	一	五	一四	一	一	
十六	十六	一	一	一五	一	一	五	一五	一	一	
十七	十七	一	一	一六	一	一	五	一六	一	一	
十八	十八	一	一	一七	一	一	五	一七	一	一	
十九	十九	一	一	一八	一	一	五	一八	一	一	
二十	二十	一	一	一九	一	一	五	一九	一	一	
廿一	廿一	一	一	一十	一	一	五	一十	一	一	
廿二	廿二	一	一	一一	一	一	五	一一	一	一	
廿三	廿三	一	一	一二	一	一	五	一二	一	一	
廿四	廿四	一	一	一三	一	一	五	一三	一	一	
廿五	廿五	一	一	一四	一	一	五	一四	一	一	
廿六	廿六	一	一	一五	一	一	五	一五	一	一	
廿七	廿七	一	一	一六	一	一	五	一六	一	一	
廿八	廿八	一	一	一七	一	一	五	一七	一	一	
廿九	廿九	一	一	一八	一	一	五	一八	一	一	
三十	三十	一	一	一九	一	一	五	一九	一	一	
卅一	卅一	一	一	一十	一	一	五	一十	一	一	
卅二	卅二	一	一	一一	一	一	五	一一	一	一	
卅三	卅三	一	一	一二	一	一	五	一二	一	一	
卅四	卅四	一	一	一三	一	一	五	一三	一	一	
卅五	卅五	一	一	一四	一	一	五	一四	一	一	
卅六	卅六	一	一	一五	一	一	五	一五	一	一	
卅七	卅七	一	一	一六	一	一	五	一六	一	一	
卅八	卅八	一	一	一七	一	一	五	一七	一	一	
卅九	卅九	一	一	一八	一	一	五	一八	一	一	
四十	四十	一	一	一九	一	一	五	一九	一	一	
四十一	四十一	一	一	一十	一	一	五	一十	一	一	
四十二	四十二	一	一	一一	一	一	五	一一	一	一	
四十三	四十三	一	一	一二	一	一	五	一二	一	一	
四十四	四十四	一	一	一三	一	一	五	一三	一	一	
四十五	四十五	一	一	一四	一	一	五	一四	一	一	
四十六	四十六	一	一	一五	一	一	五	一五	一	一	
四十七	四十七	一	一	一六	一	一	五	一六	一	一	
四十八	四十八	一	一	一七	一	一	五	一七	一	一	
四十九	四十九	一	一	一八	一	一	五	一八	一	一	
五十	五十	一	一	一九	一	一	五	一九	一	一	
五十一	五十一	一	一	一十	一	一	五	一十	一	一	
五十二	五十二	一	一	一一	一	一	五	一一	一	一	
五十三	五十三	一	一	一二	一	一	五	一二	一	一	
五十四	五十四	一	一	一三	一	一	五	一三	一	一	
五十五	五十五	一	一	一四	一	一	五	一四	一	一	
五十六	五十六	一	一	一五	一	一	五	一五	一	一	
五十七	五十七	一	一	一六	一	一	五	一六	一	一	
五十八	五十八	一	一	一七	一	一	五	一七	一	一	
五十九	五十九	一	一	一八	一	一	五	一八	一	一	
六十	六十	一	一	一九	一	一	五	一九	一	一	
六十一	六十一	一	一	一十	一	一	五	一十	一	一	
六十二	六十二	一	一	一一	一	一	五	一一	一	一	
六十三	六十三	一	一	一二	一	一	五	一二	一	一	
六十四	六十四	一	一	一三	一	一	五	一三	一	一	
六十五	六十五	一	一	一四	一	一	五	一四	一	一	
六十六	六十六	一	一	一五	一	一	五	一五	一	一	
六十七	六十七	一	一	一六	一	一	五	一六	一	一	
六十八	六十八	一	一	一七	一	一	五	一七	一	一	
六十九	六十九	一	一	一八	一	一	五	一八	一	一	
七十	七十	一	一	一九	一	一	五	一九	一	一	
七十一	七十一	一	一	一十	一	一	五	一十	一	一	
七十二	七十二	一	一	一一	一	一	五	一一	一	一	
七十三	七十三	一	一	一二	一	一	五	一二	一	一	
七十四	七十四	一	一	一三	一	一	五	一三	一	一	
七十五	七十五	一	一	一四	一	一	五	一四	一	一	
七十六	七十六	一	一	一五	一	一	五	一五	一	一	
七十七	七十七	一	一	一六	一	一	五	一六	一	一	
七十八	七十八	一	一	一七	一	一	五	一七	一	一	
七十九	七十九	一	一	一八	一	一	五	一八	一	一	
八十	八十	一	一	一九	一	一	五	一九	一	一	
八十一	八十一	一	一	一十	一	一	五	一十	一	一	
八十二	八十二	一	一	一一	一	一	五	一一	一	一	
八十三	八十三	一	一	一二	一	一	五	一二	一	一	
八十四	八十四	一	一	一三	一	一	五	一三	一	一	
八十五	八十五	一	一	一四	一	一	五	一四	一	一	
八十六	八十六	一	一	一五	一	一	五	一五	一	一	
八十七	八十七	一	一	一六	一	一	五	一六	一	一	
八十八	八十八	一	一	一七	一	一	五	一七	一	一	
八十九	八十九	一	一	一八	一	一	五	一八	一	一	
九十	九十	一	一	一九	一	一	五	一九	一	一	
九十一	九十一	一	一	一十	一	一					

1782

昭和七年度自六年十一月陸軍航空統計表

昭和七年
十一月
陸軍航空本部



観察要集（前年度トノ比較）

- 一、飛行回数、飛行時間、搭乗人員、飛行巨萬ニ就テ
内地部隊ノミラ以テ計等ニテハ減少シ立満部隊ヲカ算スレハ
増加シアリ
- 二、操縦者一人、平均飛行時間一四六時間余ニシテ十六時間、増加、
殉職者激増（内地部隊十七名、立満（上海）部隊十五名）
蘇中空中戦斗、航法中空中衝突ニヨル死傷多シ
甲式戦斗機、事故乙式ヨリエ多シ（往來、統計ト及對）
- 三、内地部隊発動機ノ大破及ハ八式偵察機ノ破損率ノ大ハ奇
現象
- 六、内地部隊ノペンゾーン消費量ハハニ、飛行時間増大ニ伴ヒ激増ス
内地部隊飛行日數平均二百六十三日ニシテ増加ス

昭和七年度陸軍航空統計=對スル觀察

一本年度、特徵

昭和七年二月上海事變勃發ニ伴フ飛行隊ノ出動續イテ夏以来在滿部隊、兵力ヲ充實セル結果内地諸隊、教育訓練ニ相當ノ影響有ラ及シタルコト茲新制式機ノ支給ニ方リ之カ傳習教育及消費油量等ニ例年ニ異ル統計ヲ現出シタルコト是レナリ

二

飛行回数
統計表第五ニ示ス如ク昭和七年度ニ於ケル飛行回數八

	昭和七年度	昭和六年度
内地部隊	一六五、三三九	一八一、五〇八
在満部隊	二三、四八	(六年度統計作製迄未提出)一〇七
計	一八八、三八七	一八二、三一五

ニシテ之ヲ昭和六年度ニ比較スレハ内地部隊ノミヲ以テ

觀ハ一万六千一百六十九回ノ減少ニシテ一見不振、現象、如クナントモ在滿部隊ヲ也算入スレハ六千七十二回、増加トナリ、其増加率ハ例年、一万數千回、比シ約二分之一、割合ナリ、其原因ニ就テハ前項ニ述シトコロニ歸因スト雖、一方八八式偵察機、如ク、航續時間、增大ニ伴ヒ、航法、寫真撮影教育又ハ満洲等於ケル偵察ノ一服務時間延長シ從テ、飛行回數、低減ラ來シタルモノト考察セラルヘシ、甲式四型、比シ九一式若タハ九二式戰斗機、在空活動時間、增加亦然リ、故ニ單ニ飛行回數ノミノ増減率ヲ以テ飛行隊、運否ヲ論スルハ誤ナリ。

又内地各隊飛行回數一六五、三三九ニ對シ、各部隊（聯隊、學校）ヲ通スル平均飛行日數ハ二百六十三日ナルカ故ニ全陸軍航空ニ於テハ一日平均六百三十回弱、而飛行ヲ實施シタルコト、ナリ、一聯隊（學校）一日平均五十九回弱（學校、聯隊）、一五七、一一七（飛行總回數、六五日）飛行ラナス道理ナリ！

而シテ一日ノ實働時間ヲ伎リ四時間トスレハ内地全陸軍機特約一五七回、飛行換言スレハ每分ニ六機即ニ機以上ノ飛行機カ内地飛行部隊、何トカノ飛行場ヨリ高陸スル計算トナリ例年ニ比シ敷テ遂色ナシ

三 飛行時間ト搭乗人員

飛行時間及搭乗人員共ニ前項飛行回數ト同様ノ情況ナリ即内地部隊ノミヲ以テ検討スレハ減少シアレトエ在滿部隊ヲ算入セル陸軍航空全般ヨリ觀察スシハ増加ナリ
如シ
而シテ増加ノ比率ヲ既往數年間ノ統計ヲトレハ左

内 七 年 度	昭 和 四 年 度	飛 行 時 間	搭 乗 人 員
内 八 年 度	昭 和 五 年 度	七二一五 四二分	一七六四三人
内 九 年 度	昭 和 六 年 度	五〇六八一五 九三六三一五	一六七九三
内 十 年 度	昭 和 七 年 度	七〇四九 四九	一四二〇〇

右、如ク兩者共、増加率ハ稍物足シ又感アレトキ仔細ニ研究スレハ搭乗人員、増加率ヨリモ飛行時間、増大ハ是レ取りテ直サス各人ノ飛行時間、延長ラ意味スルヲ以テ慢然タル任務ナキ搭乗者ノ減少ラ證明スルモノト云ヒ得ハフ又一面器材整備ノ良好ラ表徵明シ空中勤務者ノ充實ト相調和シ来レル甚々喜フヘキ現象トス稱スヘシ

又操縦者一人、最近數年間、於ケル飛行時間左、如シ
 昭和三年度 一一二時一三分
 四年度 一一二時三分
 五年度 一一四時五分
 六年度 一一三時五分
 七年度 一四六、一九

即昭和七年度ハ過去數年間ニ比シ其増加率顯著ニシテ國軍ノ爲最々欣快トスルトコロナリ、然レトキ之ヲ米國陸軍航空隊操縦者一年間平均飛行時間三〇〇時間ニ比スレハ尚大ナル逕庭アリテ國軍將來、訓練上、器材

燃料整備上考慮セナレハカラサルトコロタリ
但シ米國ニ於テハ最近經濟上、見地ヨリ一ヶ月ノ飛行時

間ヲ一時間ニ減少スル議案提出セラレタレト之ニ對スル
一般飛行將校ノ意見ハ次ノ如シ

(1) 駆逐機又ハ地上攻撃機、操縦者ヲ完全ニ養成ヘシニ
ハ最少限一五一二〇時間ヲ要スヘク又其技能維持ノ
爲ニハ二五、三〇時間ヲ要シ

(2) 爆撃機又ハ偵察機、操縦者ノ爲ニハ一五時間ヲ必
要トス

以テ他山、石トスルニ足ル

四 飛行巨離

内地部隊及在満部隊トノ關係ハ前各項ト同様、狀態
ナリ即内地ニ於テハ飛行巨離減少シ在満部隊ヲ含ム
全般トシテハ増加シアリ而シテ増加ノ割合ハ百八十六万
百二十九糸^ノ六年度ト略同等ニシテ五年度ノ約八千方
糸比シ二倍ナリ

之カ原因ノ一ハ新飛行機ノ支給整備數ノ增加ニ伴ヒ

満洲、空中輸送及在滿部隊ノ作戦、必要ニ基ク偵察連絡、爆撃等、任務ニ服スル時間、延長ノ結果、在滿部隊ヲ含ム總兵力ハ激増セルニシテ、他方内地部隊中人、員器材ノ抽出セラレタリ、殘留部隊的トナリタル隊形多モ、ヤト最前衛師團ノ出動トニ伴フ、特種機械、連合諸演習等、計画ノ中止若クヘ企画ノ案出セラレサルニ依リ、器材、進歩、航法教育、普及盛ナルニ拘ラス、其三箇低下、セルモノト判斷シ得ヘシ。

五、事故（第一表、第十一）

1、死傷者數

本年度事故中内地部隊ノ死者十七名ハ昨六年度、十三名又最近數年間ノ統計ニ示ス一年十名内外ノ犠牲者ニ比較シ其數激増セリ

又満洲及上海事變、爲空中勤務者ノ戰死者（軍令部編）、
自六年七月十五名アリシカ空中戰ヲ交ヘサル今次ノ如キ
特種ノ作戦、於ケル損耗率トシテ他日、参考資料
タルシ

員傷者ハ、今年度内地部隊ノ十八名ハ、例年、二十數名ニ比シ減少シアレトモ、多數出動中ニシテ、内地ノ搭乗人員、低減シアルニ鑑ミル時ハ、當然、現象ト思考セラル

但シ死者及傷者ヲ合算スル時ハ、其數例年ト大同小異ナリ

我陸軍航空人命ノ損失ハ、飛行巨萬六、六、二、一一千
萬シ一名、割合ナルニ米陸軍ハ、二、七、二、一、〇〇〇、將ニ一名、
割合即本邦ハ、米國、約四倍倍、比率ナリ

飛行課目ト事故

内地部隊殉職者中、本年度特異、現象ハ、空中戦斗及航法ニ依ル空中衝突ナリ、即空中戦斗四名中ノ三名及航法四名中ノ二名、別ニ空中射擊、一名計六名ハ、何レ空中小衝突ニ依ル殉職者ナルハ、其原因尚研究ヲ要ベキモノアリト雖々之力指導ニ任スル又、注意ト研究ヲ必要トル所ニシテ、將來事故防止ニ努力ト共ニ、一方之カ爲訓練ヲ消極的ナラシメ

サルノ着意肝要ナリ

次ニ航法ニ於テ死者四名負傷者五名ラ発生セシ
ハ過去二年間ニ於ケル減少、狀況ニ比シ却テ逆轉ノ
現象ナルハ注意ヲ要スルニ一面飛行性能ノ増加伴
ヒ航法教育ニ對スル要求ノ増加ヲ元顧慮スルヲ要ス
本年度ニ於テ搜索ニ於テ事故ノ絶無ナリシハ喜フヘキ
現象トス

其他ノ事故ニ至ト軍事訓練中ニ發生シタルコトニシテ
單ニ般飛行中ノ事故ト認ムハキハ飛行場制限地着
陸演習中ノ墜落ト高度時間飛行中ノ墜落、二名
ニ遇キヌシテ所謂一般飛行ハ危險ナラスシテ軍事訓
練ノミカ危險ナリトノ原則ニ一致シアルコトヲ證ス
滿洲上海事變ニ於ケル事故、詳細ニ就テハ茲省
略ス

八 機種ト事故トノ關係

甲式四型ト乙式トノ人命ニ對スル危險率ニ於テ過
去ノ統計ニ於テハ乙式ノ方危險大ナリトノ結果ヲ示

セルニ拘ラス本年度ハ之ヲ裏切リタリ。

即左ノ如シ

死者

傷者

甲式四型

九

五

飛行回数、飛行時間
飛行隊員、関係八例年
同様ノ條件ナリ。

乙式一型

四

六

尚九一式戰斗機、死者一名、傷者一名ヲ甲式ニ
又八八式一型偵察機、死者二名、傷者五名ヲ乙
式ニ方ニ加算スレハ前者、死者十名傷者六名計
十六名ニ對シ後者ハ死者六名傷者十一名計十七
名ニシテ相伯仲ス

其原因ハ前項謀目ト事故ニ述ヘタル如ク空中
戰斗競中空中衝突、及生ガ戰斗機ニ特ニ多カ
リシ結果ニ因ルヘシ

米軍ノ統計ニ依レハ驅逐、偵察及地上攻擊機
事故ハ略同等ニシテ爆擊機、輸送機、事故ニ比シ大
入信ナリ参考追紹介ス

六、器材破損ノ状況(第二表)

器材破損状況（内地部隊）中飛行機ノ全部及発動機ノ中破小破、於テハ飛行各統計ノ減少ニ伴ヒ、低減セルハ自然、成行ナレト茲ニ注目ニ價スルモノハ発動機ノ大破四一件ニシテ六年度比シ七台ノ増加ラ見タハ憂慮スヘキ点ナリトス。

而シテ其破損状況ヲ機種別ニ檢討スレハ破損ノ最も甚シキハ依然甲式四型ニシテ是レ訓練、性質上已ムラ得ナルモノト認ムサルラ得ス

唯茲ニ看過スルコト、出來サル件ハ乙式ト八八式偵察機ニ於テ兩者、飛行時間後者、稍多<sup>（二千時間
セイセイ十分一倍）</sup>ナリ、
過キヤニ拘ラス器材破損率却テ八八式ノ方不良ニシテ飛行機ノ大破^{（乙式一二台）}、発動機ノ大破^{（乙式一〇台）}、小破^{（乙式三〇台）}ナリ

即玉及六年度共二八八式ハ相當時間飛行シアルニ關セス其破損件數殊ニ発動機、極メテ少キ（大破六式一四二台）ハ、ベ、エ、ベ、発動機、信頼性ニ富ムト銘打タルニシ本年度十三台、大破三十六台、小破ラ發生セルハ其素因那邊ニ存スルヤ研究、必要ナルモノト認ム

七、消費油量（第四表）

消費油量、内地部隊ノミハ飛行時間ニ比例シ増減スルヲ自然ノ現象
トスヘキラアル。ノルニ特ニベンツ、^{前半此機}飛行時間^{後半此機}却テ消費量、激増
シアルハ一見奇異、不謬アリ。其原因、ベニニベニ四五、馬力發動機付八八
式一型及二型機ノ飛行時間、增加伴フ結果ナシント推定セサル。即第四表
ニ示ス如ク黑式^{前半此機}、^{後半此機}一型、飛行時間ハ大差ナキニ拘シ、ベンツ^{前半此機}
ゴーネ、消費量ニ關シテハ前二者皆無若、ハ極少量ナシニ八八式、全
機種消費量、過半ヲ占メアリ故ニ將來ハ必竟動機ノ使用增加、從ヒ益
此關係、織著タラシストラ予期セサルヘカラズ。

八 飛行日數

飛行全部隊ノ本年度平均飛行日數ハ既述ノ如ク二百六十二日ニシテ例年
三百五十日内外ニ比シ増加セルハ國軍進歩ノ實証タリ。且之に天候氣象ノ
統計十キラ以テ其天候ニ惠マシタルニアラスヤト疑ナキニシモアラサル。航法教
育ノ結果雲霧中飛行訓練等、爲、荒天惡氣流^ニ於テモ飛行シ得ル
自信力ノ漸増シタルヨトセ年度大抵平野、於ク之特別大演習ノ事實、微
スルセ明ナリ。

而シテ各部隊及學校ノ景況、觀察スルニ三學校、六、五六年度ニ比シ増加シ
アリ、各聯隊ハ多少ノ差アリテ最少三百三十日、最大三百六十日即三四百日、蓋アリ
其差^ノ開キハ六年度ノ十六日、五年度ノ十四日ニ比シ大ナリ。其由ツテ來ハトヨロハ各

地、天候、各部隊、行事等各種の状況、依ルコト勿論ナレト。本年度ハ満洲上、海等、事変、為行事、更ラ、餘儀ナクセラレ、各部隊、訓練、活動、支障ヲ生シ影響セシムト少カラサシヘシ。

例ハ六年度各聯隊、飛行日數ハ五年度ニ比シ倍増加(三百八十セントリカ)ゼン、又シ本年度ハ六年度ニ比シニ、除ク大部、聯隊ハ減少シアリ、狀況ナリ。

九、結論

本年度、統計、滿洲上海事變等、為人員、異動、擴繁、部隊、飛行機、出勤、輸送等交錯シアリテ、統計、作爲上甚々困難ヲ生起シタランコト想像難・クラス從ラ調査ノ正確ハ平時、如ノ期シ得ラレス又如速、觀察モ正鵠ラベク矣タゞアルヘキラ予期スレト、本統計表、有効活用セラレシコトラ、希望スルノナルトコロアリ、最ラ茲観察、數例ヲ試ミタ!

因統計表、利用並調製提出者、便否等、顧慮シ統計表、調製法、就テハ各部ト連絡、上近ク研究一案示サントス

第一卷

昭和七年度陸軍航空統計表

其一
（郭隊別）

二、本表ハ在滿部隊ヲ除ク（以下同シ省略但シ附記スルモノアリ）
三、操縱者一人平均飛行時間ハ満洲事變等ニテ人員ノ異動
甚シテ正確ナル在隊人員ノ調査困難ニシテ從テ其數字モ
單ニ概數ヲ知ルニ過キサルモノトス。

第二

昭和七年度陸軍航空統計表

其二、(機種別)

第三表

昭和七年度消費油量表 其一(部隊別)

昭和七年度消費油量表		其一(部隊別)	
部隊	合計	火薬	潤滑油
新校	五十九二八	九二三〇	一三四六五四
下校	三四三四六	一一五八一五	九一九〇
明校	三〇五五五八	七四一六	一
計	一一六八二九八	一六六四六	一
飛一	一七七三四	一五六	一
飛二	一三三六	一	一
飛三	一六八六五	一四六	一
飛四	一七八三三	三四八六	二四六
飛五	一三三二一〇	一五一三五	一八三二
飛六	五五一八〇	一四一	一
飛七	一六八二六	六八八一	八〇八〇
飛八	一三八二二	二八四六	一
計	一一三三一	一六五四五	一
所檢	一六〇六	八三五三五	一
各檢	一八七四	八八八	一
計	一一七四	一一六三	一
技術部	一三〇一〇	四〇八	一
所支部	六三二二	四一五	一
各支部	八八四三	三九六	一
累計	一一八二八九二	一六四一五五	一七五〇〇

第四表

昭和七年度消費油量表 其二（機種別）

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1"><tr><td>1</td><td>:</td><td>2</td></tr></table>	1	:	2
1	:	2		
分割撮影した理由	A3判以上の大物			
上記のとおり分割撮影したことを証明する				

3年 8月 9日

主務者又は

撮影立会者 加藤東保夫



卷五

昭和七年度陸軍航空統計比較表

昭和七年度各部隊機種別航空統計表 其一 (飛行回数)

	戸松	下枝	明枝	飛一	飛二	飛三	飛四	飛五	飛六	飛七	飛八	所檢	各檢	技部	所檢部	各支部	計
百式四型 ペツ300	1,087	2,572	4,252	9,191		7,266	14,486		5,73		4,200	173	117	153	126	161	43,382
九一式 ジニス420	-1,254	1,94	2,442	1,957		2,75					501		653	8	5	7,297	
九二式重 ペツ450			2,22								2	321	397		2	854	
七式型 セツ230	1,1327	4,538	2,677	9,88	802	824	1,007	5,963	6,39	817	166	273	342	128	95	49,761	
八式型 ペツ450	1,6122	5,190	7,696			3,749	1	1,661	1,139	3,303	515	187	1,768	88	39	40,865	
八八式型 ペツ450		272				3,100						198				3,180	
九二式重 ペツ400	303	207	276		693						1	102	843		12	2,338	
八七式重 ペツ450									1,252		12	250	3	20	1,637		
八七式重 ペツ450								2,161					9			2,170	
八八式重 ペツ450								904			145	67		30		1,147	
巴式型 ロス50	1,355.										41	11				13,603	
石川島紡 シス50	142															142	
継続式機 ジス400									60			54				114	
試製型 ペツ450	67								7			2				76	
川崎重 ペツ450		439										217				656	
中島アサルト ジス450											6					6	
トヨタエア ジス225											17					17	
フイアカルド ジス220		175										2				177	
フオルカー ジス450										16						16	
シンカース ジス420												6				6	
ドルニエ10-II ペツ11												10				10	
愛知重 ペツ450												19				19	
計	6,1697	12,952	18,797	12,136	8,695	8,425	9,341	7,968	2,273	5,823	8,320	1,374	1,355	4,735	394	3641	165,339

昭和七年度各部隊機種別航空統計表 其二 (飛行時間)

	新校	下校	明校	飛一	飛二	飛三	飛四	飛五	飛六	飛七	飛八	新換	各換	技部	新部	各支部	計
四式四型 戦300	3485.14	1284.45	1700.27	3807.17		3361.23	3068.39		167.41		1564.16	57.37	3407	123.08	41.30	50.17	16743.11
九一式 ジニス420	339.07	58.14	990.31	700.02		106.26					308.54		325.21	3.96	3.26	2734.47	
九二式練 ベヌ450			122.50								49	98.23	93.23		1.16	317.11	
二式一型 サヌ230	1,061.30	2,217.39	1,112.33	477.20	3,399.50	425.59	421.30	2,186.59	168.48		369.59	36.09	74.58	84.22	27.01	50.10	15,043.36
八八一型 ベヌ450	4,930.17	3,554.32	3,393.00				1,853.06		864.01	489.38	1597.34	105.10	58.25	483.48	18.57	24.39	17,413.87
八八二型 ベヌ450			572.07					861.30				68.09				1491.46	
九二式練 九二式400	41.47	76.35	102.54		198.18						30	36.13	291.55		10.02	778.14	
八七式重 ベヌ450										630.06			4.32	78.13	30	12.23	725.44
八七式練 戦450									725.49				4.68			729.57	
八七式練 ベヌ450		41							634.44			73.52	23.32		11.22	773.11	
己式一型 ロヌ50	3,244.31											101.17	3.00			2,253.46	
石川島練 ジヌ50	28.33															28.33	
特殊試験機 工ヌ300									45.06				38.01			38.07	
試験軽 ベヌ450		17.08							5.26				2.05			24.39	
川崎戦 ベヌ450		164.28										88.36			236.04		
中島練習機 ジヌ450												2.37				2.37	
トランセイア ラヌ025												4.08				4.08	
フエカヌアルド ラヌ200		59.21											1.25			59.46	
フオヌ一 ジヌ450										240						2.40	
ニンカース ジヌ420												13.13				13.03	
ドクターナム ベヌ450												4.46				4.46	
愛國朝鮮 ヌヌ450												32.35				32.35	
合計	14126.59	7280.13	8179.21	5.072.39	3492.08	3903.48	4343.16	3037.29	1204.30	2353.49	3532.09	441.39	448.39	1566.16	5.135.32	192.06	59497.50

昭和七年度各部隊機種別航空統計表：其三（搭乗人員）

	所校	下校	明校	飛一	飛二	飛三	飛四	飛五	飛六	飛七	飛八	所換	各換	放部	被部	各支部	計
四式四型 九〇〇三〇	1,9089	2,572	4,252	9,191		7,212	4,485		573		11,200	133	117	157	126	161	43,362
九一六 三式420	1,254	194	3,1442	1,957		275						501		658	8	6	2294
九二六 八式450			322									2	321	292	2	841	
二式一型 九式230	33,267	7,597	6,133	989	12,687	1,375	1,738	9,566	985		1,430	293	433	519	188	137	76,301
八八一型 八式450	22,004	9,209	10,749			6,650		3,059	23,03	5,442	834	722	2,773	132	60	63,537	
八八二型 八式450			1,546			3,378						315			5,239		
九二美優 九式400	263	369	386	856								1	129	1,037	14	3,055	
八七六室 八式450								6,422				57	1,347	16	116	8,018	
八七六室 八式450								3,692						20		3,712	
八八六室 八式450								1,628				314	120	49	2,012		
三式一型 四式200	22,618											55	15			22,635	
石川島優 三式50	187															187	
特殊戦機 二式450								551				551				1103	
特戰 八式450		113						19				2				134	
川崎戦 八式450			439									217				656	
中島アドリ 三式450												6				6	
トヨタエレクト 三式225												19				19	
アエラル 三式200		421										7				428	
アオクラ 三式450												40				40	
スンカース 三式420												13				13	
九二二一四九八 八式450												10				10	
愛國南洋 八式450												38				38	
計	89,632	20,475	25,170	12,136	13,523	8,916	12,873	12,944	4,612	14,675	11,072	1,834	1,768	2811	550	544	

昭和七年度 課目別航空統計表 其一 (飛行回数)

第九表

	所飛	下校	明校	飛一	飛二	飛三	飛四	飛五	飛六	飛七	飛八	所検	各検	技部	所支部	各支部	計
機銃	14234	3595		3444	1612	2171	1593	2687	1143	2186	2038	4044					63,121
空戦	50	654	3738	3585	594	2021	1711	208	155	182	1396						14,464
空中爆撃	6944	286	2891	2085	1152	1166	1860	1018	99	392	1798						13,547
爆撃	116			58	13	103				986	28						1,304
捜索	845	1997	2	691	14	310	531	113	14	131							4,640
偵察機		646		27		52	36	5	17	54							800
連絡	1443	537		639	35	250	519	21		150							2,594
航法	1,952	493	11	392	332	386	396	462	117	236	294						5,074
夜間飛行	1968	1474	610	1641	1671	1443	1,935	1,232	690	954	1,610	6	67	81			15,432
曳的	90	164	3191	487	69	361	370	69	118	315							5,234
試験飛行	2399	2003	714	402	968	513	486	397	277	286	184	797	641	4681	358	303	21,673
其他飛行	68	1,025	4,039	485	744	172	207	505	238	351	297	167	447	7	36	61	8,049
計	56,760	12,952	15,347	12,519	8,563	8,425	9,323	7,745	2,861	5,706	8,295	1,374	1,355	4,769	394	361	156,752

昭和七年度課目別航空統計表・其二(飛行時間)

	所校	下校	明校	飛一	飛二	飛三	飛四	飛五	飛六	飛七	飛八	所換	各換	技部	所支部	各支部	計
操縦飛行	394,44	1203,11		1,764,52	602,36	906,32	63,72	602,45	219,35	621,26	643,19	67,10					1,5714,42
空中戦闘	284	429,24	254,36	1,691,01	342,30	1,053,45	753,39	198,44	63,34	90,08	519,21						7,612,30
空中爆撃	188,06	169,20	1,096,34	731,32	407,09	477,91	73,48	212,12	3340	13,127	653,09						4,633,15
爆撃		40,15			21,50	16,54	5,045			718,26	10,13						738,23
搜索	475,18	1,713,29		1,09	494,11	10,59	308,14	424,04	308,24	4,09	117,25						3,838,22
偵察監視		461,15			26,53		54,30	19,28	1,48	8,01	39,47						611,42
連絡	154,06	456,47		294,17	32,42	129,46	300,17	11,20		70,45							1,350,00
航法	256,48	682,02	31,31	335,55	458,54	387,10	459,48	587,04	183,29	295,46	353,30						6,327,57
夜間飛行	290,28	442,02	222,20	426,53	213,38	393,51	518,13	202,43	96,16	236,30	257,16	32	10,18	12,42			3,323,42
曳引飛行	49,41	159,03	2,345,01	267,47	44,59	218,09	25,33	45,38		75,03	203,11						3,660,05
訓練飛行	1,503,50	603,39	323,08	149,08	283,37	189,08	152,50	106,44	9756	132,49	18,09	293,06	283,46	1,544,16	88,51	106,32	6,066,29
其他飛行	34,12	847,45	1568,48	249,49	362,54	213,40	188,14	437,07	115,32	300,27	147,44	8151	154,35	9,17	4701	85,73	4844,32
計	1412,59	7288,12	8179,20	5,158,06	3453,28	3903,51	4,230,52	3,036,46	1,206,34	2614,12	3018,53	44,39	448,39	1,568,15	135,52	192,05	59065,42

課目別事故統計表

File ref. 9 - March 17, 1933.

China's charge that Japan used poison gas in the incident at Shanghai and Tchouk.

The report which was directed to Home Minister, Foreign Minister, War Minister by the Governor of Fukuioka.

According to a secret police of Fukuioka Pref. Chinese Cittas at Tientsin ordered 2500 gas masks to be given to Chinese force to prepare against Japanese attack with poison gas.

Chinese charge that Japan ignored the international law and used the gas in the Shanghai Incident and the same also applies at the Tchouk incident. But Japan was making just the reverse propaganda.

Does this need clarification?

For No. 51

Taseki